

9月定例会の一般質問は、10日、11日の両日行われ、12名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

市政を聞く 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



佐久間 博
議員

問①JAわかさ前の用地造成費用は。

答 本年度末で約4億6,200万円。

問②誘致の可能性は不調なら市長の責任だが。

答 2010年に立地予定100%確信している。

問③つばき回廊の関与の決定は。

答 研究協議会で重要性を確認次第。

問④次期市長の課題になるのでは。

答 市民の意見を見極め論議してまちづくりの観点から決断する。

問⑤世界遺産暫定リスト登載の可能性は。

答 大陸との文化交流で生まれた神仏習合のあ

り様は専門委員会に高い評価を受けていて認定を目指す。

問⑥琵琶湖若狭湾快速鉄道の西川知事の考えは。

答 2期目のマニフェストに努力すると明記。

問⑦国会議員連盟設立や滋賀県への働きかけは。

答 市長自ら10月に出向いて協力を要請する。

問⑧原発振興特別措置法と都市鉄道等利便増進法の可能性は。

答 法案の適用で地方負担分は55億円で実現に近づく。国に適用を強く働きかける。



風呂 繁昭
議員

問①行財政について。

答 行財政改革を通じて歳出を圧縮して投資的経費起債7億円、一般財源5億円を基本にする。身土不二に基づく地産地消の推進や体験参加型観光の推進、図書館・文化会館を指定管理者制度へ移行することも検討。

問②まちづくりについて。

答 つばき回廊周辺を食・人・文化の交流拠点、早い時期に行政が物件を所有し民間が運営する方向も。小浜小跡地発掘調査、国の史跡指定を進める。小浜縦貫線道路の詳細設計、

電線共同溝、消雪装置を設計。いづみ町は道路拡幅だけでなく、周辺のまちづくりと合わせて進める。環境基本条例で犬猫の管理、糞の放置や深夜花火に罰則規定を検討。公民館管理運営を調査研究し準備している指定管理者制度も視野に入れ方向性を決める。

意見 障害者自立支援法による1割負担の軽減措置と障害者雇用促進法に基づき雇用拡大に努力をしていただき、駐車場利用証制度の施設管理者に駐車場設置の協力を求めて欲しい。



山本 益弘
議員

問①市長の三選不出馬表明は、なぜこの時期なのか。

答 早いとは思っていない。任期いっぱい務める。

問②企業進出についてお互いの確約書はとれているのか。

答 2010年操業に向けて信用で確約を頂いているものと考えている。

問③新線事業は道半ばというが。

答 準備に2~3年、組織づくりに2~3年、工事取組みに5年かかるものと考えている。

問④小浜病院の重油流出事故の組合長としての

責任のとり方、また、二期工事は完了できるのか。

答 組合長として報酬をもらっていないので、病院議長に陳謝した。また、会計上、旧病棟の取り壊しは先送り。

問⑤市長報酬についてどう考えられたか、再度聞く。

答 6月議会で応えたように各層の意見を聞いて慎重にしていく。



能登 恵子
議員

問①1人暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭は、病気や災害時などの不安を抱えている。小浜市はボタン式からセンサー式に変わるのを機会に、全世帯に案内を入れて「安心安全の町」として欲しい。

答 緊急通報装置の増設を検討したい。

問②4,100万円の滞納者がいる市営住宅、悪質な方が目立ち入居希望者から不公平感が出ている。景気低迷で本当に貧しい方が多い中、そういう方には減免・徴収猶予規定を活用し、条例に則った公平な入居手続きがされるよ

うに。

答 悪質な滞納者には法的処置をし、空き家待ち入居を進めるが減免・徴収猶予措置はしない。

問③市職員の昇進から男女共同参画を見る。

答 課長補佐昇進時年齢は、H12年には男女9歳の開きがあったがH19年には4歳になり徐々に女性の登用が図られている。今後事業者においても進める。



下中 雅之
議員

問①災害時の避難において支援が必要とするための災害時要援護者の登録申請や、それを基に要援護者一人ひとりについて誰が関わり、どこの避難所に避難させるのかを明確にした「避難支援プラン」の進捗状況を伺う。
答 災害時要援護者の避難支援体制の構築を目的として民生児童委員により要援護者本人に直接働きかけ、必要な情報を収集する方式により、小浜市災害時要援護者登録申請および避難支援プランを作成したところである。

問②妊婦検診助成を第1子第2子まで拡大の考えを伺う。
答 他市町の動向や市民の声を聞きながら検討する。
問③少子化対策推進室設置後の現状の取り組みを伺う。
答 子育てに感じる負担を取り除き子どもを安心して生み育てることができる環境づくりを進めるため、小浜市次世代育成支援行動計画に基づき各種の子育て支援施策を推進している。



三木 尚
議員

問①遠敷JA前の企業誘致について。
答 100%間違いなく操業できる。
問②つばき回廊問題について、市の出動があるとしても、それは市民の理解を得られるものでなければならない。具体例を挙げる。
答 参考にした。
問③文化会館、市民体育館、総合運動場の維持管理について。
答 それぞれ適宜、修繕して管理している。
問④文化会館への指定管理者制度の導入は。
答 専門知識を持ち当市の文化振興に取り組ん

でもらえるかどうかを前提にして、結論を出したい。
問⑤8月の慶州奈良姉妹都市交流事業の少年少女合唱団の公演に大変感銘を受けたが、観客が少なく出演者に失礼と感じた。
答 民間主導で手作りであったため、市も集客に努めたがこれを糧にして更に努力したい。
問⑥小中高校生への文化芸術面の啓発事業として郷土の偉人である伴信友賞の創設はどうか。
答 検討したい。



恒本 正直
議員

問①組織機構改革における職員の削減目標の「適正化」とは。
答 本市の類似自治体職員1人あたり人口は約100人であり平成23年度の目標職員数を320人程度とした。现阶段においては適正指針と考える。
問②各公民館施設の整備方針は。
答 防災上の避難施設でもあり安全管理の面から今後耐震診断の実施を検討している。
問③財政再建のための公民館の職員体制見直しは間違いである。地域活動の拠点としての

改革を進めるべきである。
答 今後、管理運営体制がどうあるべきか慎重に検討していく。
問④地域住民の社会教育・生涯教育の拠点であり、地域づくりの拠点として、公民館の役割は重要であり、更なる充実を。
答 地域づくり・人づくり等への支援は、重要な業務と認識している。市民の暮らしに最も身近な社会教育機関としての機能を果たし地域と協働し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。



藤田 善平
議員

問①農業振興策を問う。
答 小規模農家であっても集落営農組織に参画することで品目横断的経営安定対策の支援を受けられる。農地、水、環境保全向上対策の実施地区の拡大を図る。電気柵は農家組合単位で集落の広範囲が防御できる設計計画を立てて申請していただいている。
問②交通対策を問う。
答 北陸新幹線若狭廻りは閣議決定されており大阪までの全線が早期に整備されるよう引き続き要望していく。琵琶湖若狭湾快速鉄

道は今後も県に対し強く要望していく。
問③雇用対策を問う。
答 JA前の企業には小浜市への新施設建設について確約をいただいている。
問④行政改革を問う。
答 嘱託職員等今後も意欲を持って職務にあたっていただけるよう環境整備に努める。
問⑤市街地活性化を問う。
答 つばき回廊商業棟についてはできるだけ早く市の方向性を示したい。



井上 万治郎
議員

問①小浜小学校の通学区域見直しとバス通学について。
答 区域外の保護者から変更の要望があれば認可基準に基づき弾力的に学校と協議する。新通学コースは学校と協議中。青井区の路線バス通学も対応。
問②総合運動場の体育館建設計画と基金の積み立てを問う。
答 第5次総合計画を策定する中で検討していきたい。
問③企業誘致アンケートによる誘致折衝結果に

ついて問う。
答 平成16年度より5,000社・3,500社・2,500社に対し調査を実施。平成17年度に大阪市、18年度には坂井市の企業が市内に新規事業所を開設し現在まで10名の雇用が図られている。今年は情報サービス関連企業に加え、これまでの回答企業を精査し、1,000社を予定。
問④家庭不用品の再利用策は。
答 不用品のリユースについては、市民のニーズや過去の反省点も踏まえ、システムの見直しを行う。



清水 正信
議員

問①防災を進めるには「自らの安全は自らが守る」を基本に「地域の安全は地域で守る」自助、共助と公助それぞれがその役割を果たしていくことが重要。防犯についても共通する。安心安全の住みよいまちづくりには地域の連帯による地域力の向上と共に社会基盤の整備が不可欠である。防犯対策の一戸一灯運動、防災対策の住宅火災報知器の早期設置対策、携帯電話の不感地区解消の取り組み、芝浦工場跡地の大型店出店に伴う、歩行者、車の通行の安全の確保策を出店事業者に求

めること。水取で整備を進めている雨水渠整備、老朽化が著しく通行の安全上大変危険な国道162号大手橋、西津橋の早急な架け替え、沿線住民の立ち退き等の問題など不安に対する取り組みについて質問を行った。

答 道路拡幅に伴う立ち退き等については、移転先の確保等についても地元協力をいただくなかで「まちづくり、地域づくり」を視野に取り組みを進めていきたい。



松崎 圭一郎
議員

問①全国的に「総合的な学習の時間」の弊害等が問題視されているが市教委の考え方は。

答 本市においては、この時間による弊害は現れていない。

問②地域教育力の拠点である公民館が、事業縮小、行事公民館化しているが、今後の方針は。

答 地域の拠点として更に充実させたい。

問③「ふるさとスクール」の価値観と存在感をもっと知らせるべきではないか。

答 あらゆる機会を通じて知らせたい。

問④今回のNHKのTV撮影を起爆剤に、おも

てなしの心を持って新たな観光振興を模索する必要があると思うが。

答 市と市民が一体となって取り組みたい。

問⑤西津地区の市営住宅の建替え計画はどうか。

答 旧山手団地建替え後、計画したい。



宮崎 治宇蔵
議員

問①原発の地震対策について。

答 加斗、内外海地域で変動地形調査、地表地質調査を実施。大島半島中部断層や熊川断層等についても調査している。自衛消防体制の強化を図るため、消防車2台を平成20年3月までに配置する。

問②小浜市の財政について。

答 三位一体の改革により、地方交付税が6億5千万円の減少となった。小浜小学校、リサイクルプラザ、企業立地推進事業の借り入れ、36億8千万円の償還が本格的に始まり厳しく

なる。ナニが市民に大切なのかを見極め、将来にツケを残さない財政運営を行っていく。

問③国富に学童保育の設置を。

答 前向きに検討したい。

問④「品目横断的経営安定対策」について。

答 加入数は、個人が10名、農業法人8団体、集落営農3団体の21経営体である。

市民の質問

〜どうなる公立小浜病院〜

高度医療施設整備事業として約120億円の巨費を投じて生まれ変わった公立小浜病院。本年10月25日に無事竣工する運びとなっております。

この事業の完了により救急救命センター機能も有するなど医療水準は飛躍的に向上し、本市はもちろんだ、嶺南地域の医療の中核を担う病院として大きな期待が寄せられています。

その一方で多くの課題を抱えているのも事実であります。今回は、いま小浜病院が抱える課題について触れてみたいと思います。

① 深刻な医師不足

内科・循環器科の医師不足により紹介外来医制に移行していますが、施設が立派になっても医師が不足しているのは病院としての機能は低下します。

医療水準の確保のために医師確保が必要不可欠です。

② 重油流出

食の安全安心を追い求める本市において、環境に影響を及ぼす重油が流出したことは重大な問題です。また、対策には多額の費用を要す

ことから、二度とこのような事案が発生しないよう管理の徹底と万全な事後対策が必要です。

③ 病院経営への不安

公立小浜病院は、美浜町、若狭町、おおい町ならびに小浜市で構成する病院で、各自自治体からの分担金を主な財源として運営しています。しかし全国的に見ても自治体が増加する病院の経営は芳しくなく、本院においても折からの収益不足に加え、高度医療化分の整備費償還や重油対策への出費が予定されているなど、当面支出が増加すると予想されます。その一方で紹介外来医制への移行による外来収益の減少、診療報酬の値下げや救急救命センターの収支が当初から赤字が見込まれるなど、病院経営全体の見直しが急務となっております。

このように公立小浜病院を取り巻く環境は非常に厳しい状況であり、市議会としても市民の安心確保のため、病院経営の改善等に向け議論を深める一方、有効な財源確保に向け様々な機会を通じて関係方面に対し要望をしています。